

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP



発行: 令和2年7月15日
鳥取商工会議所青年部
広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

7

July 2020

令和2年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 荒田潤之介
株式会社 千代田工務店

梅雨も明け、日増しに夏らしく感じられるようになって来ました。

本来であれば、各事業が益々活発化していく時期ではありますが、新型コロナウイルスの影響で現在全体の事業を9月末まで休止しております。

しかしこの状況だからこそ、新型コロナウイルスに委縮し下を向いていては、自分たちの社業や、愛する地域、子どもたちの未来を切り開くことはできません。我々が率先して地域を支える活動をしていかなければなりません。

そのような中、6月3日(水)鳥取県商工会議所青年部連合会正副会長と日本商工会議所青年部米良充朝会長とのリモート意見交換会に参加しました。新型コロナウイルスに関する状況や対

策などの情報交換をさせていただきまし
た。地域ごとの取り組みを聞くことがで
き、今後の活動のヒントにしたいと思
います。その後引き続き、県連正副会長
議を開催しました。倉吉YEG・米子Y
EG共にそれぞれ独自の取り組みをされ
ています。鳥取YEGも本紙で詳細をお
伝えしますが、Bーシェア・YEGとい
う取り組みをスタートしました。会員企
業が自社の商品や業務内容をPRし受注
に繋げるという事業になります。

さまざまな業種は、私たちの生活の中
に必要なものばかりで、どれも欠ければ
困るものばかりです。互いに助け合っ
た持ちがこの難局を乗り越え、地域の明
い未来を切り開いていくと思っております。

今こそ、当会がビジョンに掲げている
「鳥取力」を高め、地域の未来を担える組
織として力を発揮する時だと思っていま
す。引き続き10月の活動再開に向けてし
っかりと準備を行い、全会員が笑顔で再
会し、地域で活動できることを目標に進
めて行きたいと思っております。

Bーシェア・YEG事業について

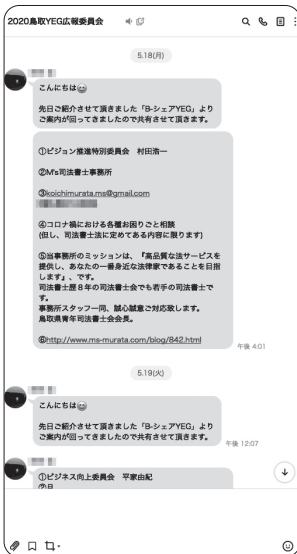
今年度のYEG活動は新型コロナウイルスの影響を受け、9月末までの例会などを中止することが決まりました。しかしビジネス向上委員会では、「この様な時だからこそ少しでも会員の皆さまの役に立つ事業ができないか」という荒田会長の思いのもと、ビジネスマッチングを目的とした事業を立ち上げました。

事業名を、Bーシェア・YEG (ビジネスシェア・YEG) と称しまして、ソーシャル・ネットワーキング・サービスのLINEを活用した情報発信と共有を行います。

会員企業が情報発信などを行う機会が無くなった今だからこそ、最も手軽に情報の発信と共有ができる場が必要であるため、そこで多くの会員が、委員会内の連絡などで利用しているLINEを使用することで、より手軽さと確実かつスピーディーな情報の発信と共有ができると考えました。

この度の新型コロナウイルス関連のことに限らず、会員企業の商品やイベントなどさまざまな情報をBーシェア・YEGで発信し、活用していただければと思います。

ビジネス向上委員会 委員長 山根 真



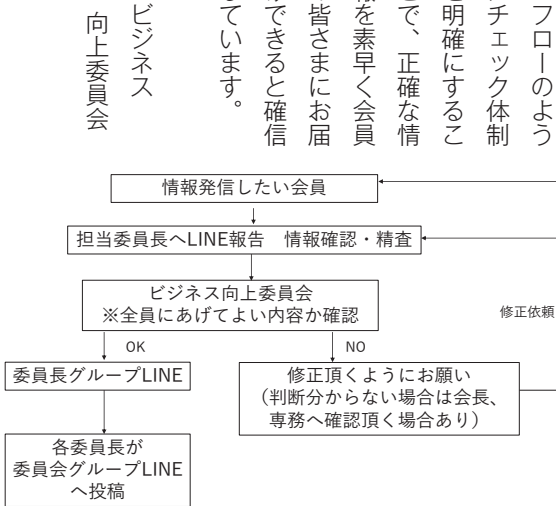
LINE上での情報共有

B-シェア・YEG事業
LINEアプリ活用の利点(メリット)とは

当会には、全会員に情報を一斉に発信・受信するツールとして、エンジェルタッチやメールリングリストがあります。とても便利なツールですが、入会の浅い会員や新入会員などはある程度のレクチャーを受けないと使用が難しく上手に活用できません。通常の年度では、新入会員研修会など活用に対して学びの場が設けられますが、今年度はそれもなかなか難しい状況にあります。

そこで、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービスのLINEは、誰もが気軽に使用できる点や既読機能による確認が容易である点など、さまざまなメリットがあると考えLINEを使った情報共有の場を設けるにいたしました。

フローのようにチェック体制を明確にすることで、正確な情報を素早く会員の皆さまにお届けできると確信しています。



「コロナ禍で出会った
ビジネスチャンス」

当社は、生命保険代理店業を主たる事業とさせていただいております。

業務の特性上、対面での活動が原則です。新型コロナウイルスの拡大の影響で、訪問活動が大幅に制限され、また事業の柱の一つである「マネーセミナー」を、企業・各種団体さま向けに開催させていただいておりましたが、制限を余儀なくされている中で今後の売上減少が免れない状況となっております。

この状況下で、「普及しつつあるオンラインシステムを事業にも活用できないか？」と同会員の大森誠委員(株式会社WEBもり)からの提案があり、システム構築の検討に入りました。オンラインシステムを導入することにより、従来集合対面であったセミナー開催や、遠隔地のお客さまに対する非対面での対応、また新規ご相談依頼の対応など今までの概念には無かった事業拡大のチャンスがあると感じております。

この度の新型コロナウイルス拡大の影響で、あらゆる情報にアンテナを張り自分自身は何をするべきか自社の経営と向き合うきっかけとなりました。「ピンチこそ転換のチャンス」鳥取YEGの仲間知恵をいただいた事に感謝です。

株式会社アバンス
代表取締役 尾田 政和
(ビジネス向上委員会)



麒麟獅子紙芝居
プロジェクト

近年、地域住民の相互関係が希薄となり、地域交流や文化交流が衰退している状況です。そこで、令和元年度鳥取力魅力発見委員会では活動テーマを「コミュニティのまち鳥取を目指し地域の魅力を内外に発信する」として、日本遺産・麒麟獅子をテーマにした「麒麟獅子紙芝居プロジェクト」を計画しました。

当事業では、紙芝居を通じて園児や子育て世代を巻き込み、日本遺産・麒麟獅子を知っていただくことで地域文化に興味を持ち、地域に貢献できる人材の育成と活性化に繋げて行きたいと考えました。そこで紙芝居の制作を、紙芝居作者おくむら のりこ氏(鳥取県青谷町出身 東京都在住)に依頼・制作していただきました。

制作の内容は地方紙に取り上げられ内外に発信する良い機会となりましたが、新型コロナウイルスの影響で紙芝居の公開ができていません。

今後紙芝居を見聞きし日本遺産・麒麟獅子を知ることが、親子や友達同士そして保護者同士の会話のきっかけとなり、住民の交流が新たに生まれ地域の活性化へと繋がることに期待しています。

会員増強委員会
網尾 和亮
(令和元年度鳥取力
魅力発見委員会
委員長)



麒麟獅子紙芝居